

# 活動NEWS



## Topic 3 農作物鳥獣害防護柵設置補助金

- (1) 補助経費：防護柵の設置に必要な資材を新たに購入する経費
- (2) 補助率：2／3以内
- (3) 採択要件：現に耕作されている農地及び、受益戸数が2戸以上（原則）
- (4) 手 続 き：事業計画書⇒割当内示通知⇒補助金交付申請  
⇒決定通知・購入・設置⇒実績報告
- (5) 問合せ先：北区役所農林水産振興課（☎803-1661）  
御津・産業建設課（☎724-1114）  
建部・産業建設課（☎722-1113）

## 松田たかゆき 事務所

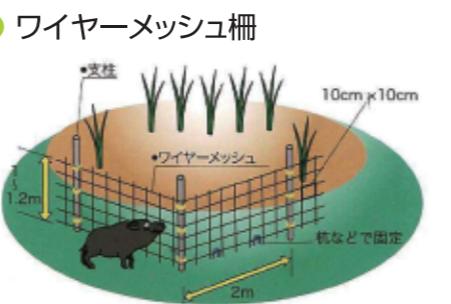
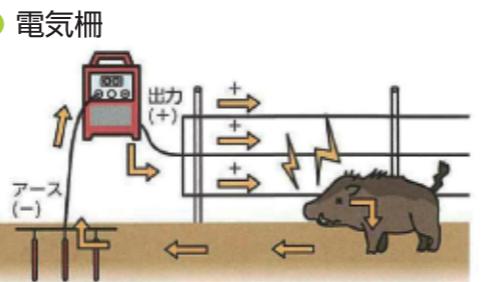
TEL&FAX / 086-287-5697

〒701-1333 岡山市北区立田140番地8

HP : <http://www.takayuki-matsuda.com>

mail : t-matsuda@takayuki-matsuda.com

- プロフィール
- ・三井造船（株）玉野造船所
  - ・岡山市役所  
建築設備の設計施工管理  
廃棄物・地球温暖化対策事業  
ESD国際会議誘致等
  - ・（公財）岡山市ふれあい公社
  - ・2015年 岡山市議会議員 初当選
  - ・2019年 岡山市市議会議員 二期目当選
- 所属委員会
- ・都市・環境委員会 委員長
  - ・新庁舎整備調査特別委員会

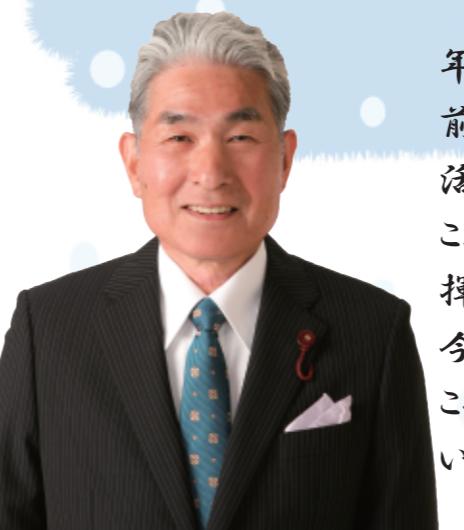


市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

岡山市議会議員(北区選出) 自由民主党岡山市議団所属

# 松田たかゆき 市政活動報告

Vol.9  
令和元年 冬号



## ごあいさつ

岡山市政令指定都市移行10周年・市政施行130周年、そして令和元年という節目の年に皆様より二期目の任期を賜り心より感謝を申し上げます。前期2年間の常任委員会では、「都市・環境委員会」委員長を拝命し生活交通・下水道整備・環境施設などに全力で取り組んでいるところです。これから約4年間、大好きな岡山市のために35年間の行政経験を十分發揮し目に見えるかたちで恩返しをしてまいります。

今回の市政報告【VOL9】では、6月及び9月定例市議会の質問と答弁、ここ半年間の活動の一部をお伝えいたします。初心を忘ることなく活動してまいりますので、一層のご高配とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

岡山市議会議員 松田隆之

## Topic 1 ハザードマップ



※現在のハザードマップは、岡山市ホームページからご覧いただけます。

### (1) 津波／洪水・土砂災害ハザードマップ

南海トラフ地震による津波予測及び、笹ヶ瀬川水系等に概ね100年に1回程度起こる大雨により被害が予想される場所を破堤点に選んで浸水範囲・深さを想定

(H28年3月作成公表⇒現在、改訂中:令和2年度公表予定)

### (2) 学区別ハザードマップ

小学校区別に洪水・砂防、地震危険度、ゆれやすさ、液状化危険度を想定(H28年7月作成公表⇒現在、改訂中:令和元年度全戸配布予定)

### (3) 浸水(内水)ハザードマップ

大雨によって下水道施設や用水路及び側溝で排水しきれなくなった雨水が街に溢れ、浸水が発生した場合を想定。対象降雨は平成6年の7月豪雨及び、平成23年台風12号降雨の実績から想定

(平成28年6月作成公表⇒現在、平成30年7月豪雨調査により改定中:令和元年度公表予定)

## Topic 2 造山古墳周辺整備

造山古墳のビジターセンターは、日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま～古代吉備の遺産が誇る鬼退治の物語～」並びに周辺観光施設の情報を提供し魅力を発信することにより、吉備路の観光及び広域周辺観光の振興を図るために設置されるものであり、地域への愛着や誇りを醸成する学習の場となるよう、観光客、市民、県民の皆様に親しまれる施設にしていきたいと思います。

現在、陪塚の千足古墳の復元整備を進めているところであり、ビジターセンターとともに見学していただけるよう充実を図ってまいります。(市長記者会見より)



造山古墳ビジターセンター



ビジターセンター	展示ホール 49.50m <sup>2</sup>
	講義スペース 29.28m <sup>2</sup>
	事務室 12.00m <sup>2</sup>
	日よけスペース 22.50m <sup>2</sup>
	倉庫 11.29m <sup>2</sup>
計	124.57m <sup>2</sup> (約38坪)

## 1 健康づくりと健康寿命の延伸について

**Q** おかやまケンコー大作戦は、健康につながるメニューを利用して、ポイントに応じて商品券などが与えられる健康ポイント事業です。成果目標と対象メニューの認定基準は。

**A** 令和元年度の成果目標は参加者1万5千人の確保。お弁当の認定基準は、主食・主菜・副菜のバランス、減塩の工夫、120g野菜たっぷりのうちいずれかの要素が入っていること。

**Q** 認知症かかりつけ医制度は、地域包括支援センターなど、介護・福祉分野との連携を図ることができる医師を登録する制度、認知症かかりつけ医に期待すること、市の役割は。

**A** かかりつけ医には、早期から本人や家族に関わっていただくことで、症状の悪化防止や不安軽減に寄与していただけること、また、地域包括支援センターが協力することで、連携が強化されることも期待している。

市は、制度の周知や認知症の方への対応力向上を図る医師への研修等を行う。

## 2 自主防災組織と災害対応について

**Q** 単位町内会への支援制度「避難活動準備助成金」の使途について、人気の高い具体例、珍しい具体例は。

**A** 申請の多かった資機材は、折り畳みリアカー、発電機、誘導ライト、特色あるものは、ドローン、テレビ、先進地での研修受講など。

**Q** 避難行動要支援者名簿には、対象者のどれ位の参加があるのか、名簿提出先の取組み状況は。対象者要件の「要介護3以上」などの緩和が必要では。

**A** 平成31年度3月末現在、避難行動要支援者1万458人のうち、名簿掲載者は6,806人・約65%で、安全・安心ネットワークや民生委員などに提供し、要配慮者の把握や見守り活動などに取組んでいただいている。

また、要介護3未満の方でも本人や親族などの同意を得たうえで名簿への掲載申請があれば掲載している。

## 3 農林排水機場の機能強化について

**Q** 用排水路の浚渫作業(川ほり・藻刈り作業)が、高齢化が進み難くなっている、地域住民による浚渫作業の将来に向けた市の方針は。

**A** 農業者の高齢化に伴い維持管理に係る負担が重くなることで、今後、地元作業に変わり市での実施を求める要望が高まつてくると考えられるが、地元できること、市がすべきことを分担しながら限りある予算の活用につとめたい。



## 4 吉備路の観光振興について

**Q** 日本遺産、「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」について、1年間の総括と今後の期待について、市長の思いは。

**A** 市内外の知名度は随分上がったのではないか。吉備津神社等々来場者が増えたと聞いているし、地元の方々による商品開発も行われており一定の成果は出ていると思う。造山古墳ビターセンターや千足古墳による魅力アップと知名度のある旧高松城と桃太郎伝説、地域的にも重なっており、連携をとってやればと思っている。

**Q** 造山古墳とその周辺整備の全体構想(将来ビジョン)の策定について市長の考えは。

**A** 造山古墳そのものの発掘等々は文化庁との協議となるが、中々スケジュール感が示せない。

手始めにビターセンターをつくり千足古墳の魅力を伝えることとしたところだが、将来像全体をどうつかんでいくかは整理しきれるかどうか、ご指摘を踏まえ考えてみたい。



## 1 産業振興に資する土地活用について

**Q** 地域未来投資促進法により、企業立地において不可能が可能になった点はなにか。

また、岡山総社IC周辺の農振農用地の場合はどうか。

**A** 地域未来投資促進法は、地域特性を生かし高い付加価値や経済的波及効果を及ぼす民間事業者等を支援するもの。農業上の土地利用調整が整った場合には、農用地区域からの除外や農地転用が可能となる措置がとられ、調整区域における開発行為について、法に適合する施設は、都市計画法の開発許可制度運用指針において、原則、許可して差し支えない。IC周辺の土地も、具体的な計画をもとに農用地区域からの除外、農地転用、開発許可などの協議を行い、土地利用の調整を行う必要がある。



総社市長良企業誘致

**Q** 市は、用地を準備しての企業立地は考えないので。

**A** 産業振興は非常に重要で、新しい法律を利用できるのならやっていけば良い。今の段階ではぴたつとするものがないが、そこを探していくことが可能なのかどうかというような視点から色々なことを考え、公の団地が出来ないのなら、民の力をどうやってサポートするか考えていく。

## 2 放課後児童クラブの移行について

**Q** 令和2年度から市の直轄クラブに22クラブが移行を申請、65クラブは移行申請を見送っているが、主な理由は。

**A** 申請クラブには、運営を平準化し一元化の新たなルールを理解していただいた。

見送りクラブは、

- ①移行クラブの状況により判断したい。
- ②新ルールから検討期間が2カ月と短く合意形成や保護者説明が間に合わなかった。
- ③職員体制の確保が難しいとの理由による。

**Q** 来年度から、運営委託するふれあい公社の業務体制のあり方を示せ。また、ブロックごとに、スーパーバイザーとか、エリヤマネージャーを配置できないか。

**A** 新体制では、定期的な職員の会議を開催しクラブ間の情報共有や連携強化を図る。トラブル等には全体の問題として議論していく、職員間のネットワークをつくることで運営全体のレベルアップを図る。スーパーバイザー等については、ご指摘を踏まえ、市として責任を持って公社とも連絡調整を図りながら考えてまいりたい。

## 3 財産区の管理について

**Q** 財産区の同意が得られれば、区有地を市に引き取ってもらうことは可能か。また、個人や民間業者に売却又は貸付けようとする場合はどうか。

**A** 財産区有地には、様々な利用に伴う権利が生じており所有権移転によっても、そういった権利が当然に消滅されるものでないため寄付等の申し出には十分な配慮が必要。また、売却や貸付けは不可能ではないが、財産の管理、処分、廃止については、地方自治法において地方公共団体の財産又は公の施設の管理及び処分又は廃止に関する規定により市議会の議決が必要となる。

## 4 安全運転サポート車の普及について

**Q** 安全運転サポート車の普及について、国への提言内容は。また、大切に車に乗っている高齢者ドライバーのため、後付けの安全運転支援装置には補助してもらいたいがどうか。

**A** 全国市長会から国に対し、全国的な補助制度の創設を要望事項とするよう提案している。また、後付けの安全運転支援装置については、十分議論する段階にはなっていませんが、議員の指摘は指摘としてきちんと受け止めさせていただきたい。

**LINE@ はじめました。**

年4回の定例岡山市議会のご案内などお届けします。なお、経費削減のため、はがきでの「定例市議会のお知らせ」は取り止めさせていただきます。

友だち登録をお願いします。

▶ 友だち追加方法  
LINEアプリの【友だち追加】から、【ID検索】または【QRコード】で追加して下さい。

ID検索 @matsuda\_takayuki

